

株式会社クボタケミックス 小田原工場

1. 事業概要

住所	〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1	
従業員数	155名 (H29(2017).4.1現在)	
敷地面積	61292㎡	
事業内容	塩ビ管・継手の製造	

主要製品

塩ビ管

- ・一般、HI、SGR-NA、SRA、SRB、
- ・HT、電線、三層、二管路、
- ・農水圧力、下水、カラーさや管



▲SGR-NAパイプ



▲カラーさや管

塩ビ継手

- ・TS、HI、DV、VUDV、HT
- ・リブ、透明、カラー、SGR
- ・ハイゲートバルブ



▲透明継手



▲HTパイプ・継手

工場変遷(沿革)

1967年3月	(昭和42年) 久保田鉄工株式会社 小田原工場 ビニルパイプ工場 完成
1967年4月	(昭和42年) 電電公社(現NTT)向けケーブル保護管 生産開始
1978年	(昭和53年) SGR-NAパイプ 製造開始 電力用保護管 製造開始
1981年	(昭和56年) ポリブデンパイプ 製造開始 松田出荷センター 完成
1983年	(昭和58年) ガス用ポリエチレン管 製造開始
1989年	(平成元年) PM優秀事業場賞 受賞
1998年	(平成10年) ISO9001認証 取得
1999年	(平成11年) SGR-NAVH管 製造開始
2000年	(平成12年) ISO14001認証 取得
2001年	(平成13年) リサイクル三層発泡管 製造開始
2002年	(平成14年) リサイクル三層管(ソリッド三層管) 製造開始 小田原西配送センター 完成
2005年4月	(平成17年) クボタシーアイ株式会社 設立
2006年	(平成18年) ポリブデン管、ガス用ポリエチレン管 栃木・堺工場へ生産拠点変更
2009年	(平成21年) 堺工場より、TS継手・HI継手・HT継手生産移管
2016年5月	(平成28年) 「株式会社クボタケミックス」へ社名変更

2.環境方針

ISO環境方針

(株)クボタケミックス 環境方針

株式会社クボタケミックス及び株式会社九州クボタ化成は、合成樹脂を原料として、社会生活に必要な水道管、下水道管などのライフラインを社会に提供しています。その活動において、地球環境の保全が人類全体の課題であり、企業にとってその対応が重要な責務である事を認識し、環境保全に不断の努力を行います。

【理念】

- ・私たちは、地球規模で持続的な発展が可能な社会の実現をめざします。
- ・私たちは、環境に配慮した企業活動・製品・技術を通じて、地球環境・地域環境の保全に配慮した企業活動を行います。

【方針】

1. 製品の設計・開発、生産、販売、物流、サービスまでのすべての段階において、環境保全に積極的に取り組みます。また、環境マネジメントシステムを導入し、自主的・具体的な目標と公道計画を定めて、日常の業務を推進し、継続的に改善する事によって長期的で幅広い観点から環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 社会の持続的な発展に寄与できる製品の開発ならびに製造を推進するとともに環境リスクの低減及び環境汚染の未然防止に努めます。
3. 自然環境や生物多様性に配慮した企業活動に努めます。
4. 環境関連法、条例、協定及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、取引先に対しても、環境保全活動への理解と協力を求めます。
5. この環境方針を実践するため、環境保全中期実施計画達成に向けて、その実施状況を定期的に確認し、環境マネジメントプログラム計画の見直しを行います。
6. この環境方針を、当社で働く人、当社の為に働く人及び取引先に周知させると共に、各人が日常生活においても環境に配慮した行動を行うよう、環境意識の向上に努めます。
7. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。また、この環境方針は、私たちの姿勢を理解していただくため、一般の人も入手可能とします。

平成29年5月1日 株式会社クボタケミックス
製造部門 担当役員

汲田 康昭

ISO認証取得状況

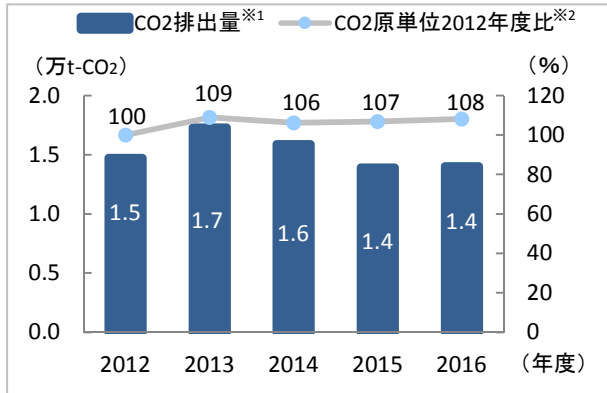
2000年	(平成12年) ISO14001認証取得(審査機関:日科技連)
2011年	(平成23年) サーベイランス兼組織統合審査兼拡大審査(登録継続)
2012年	(平成24年) 更新審査 受審 (登録継続)
2013年	(平成25年) 第1回サーベイランス 受審 (登録継続)
2014年	(平成26年) 第2回サーベイランス 受審 (登録継続)
2015年	(平成27年) 更新審査 受審 (登録継続)
2016年	(平成28年) 第1回サーベイランス 受審 (登録継続)

株式会社クボタケミックス 小田原工場

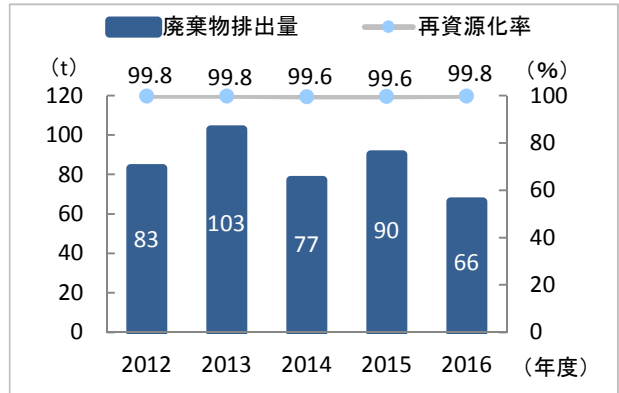
3.環境パフォーマンス

(1) 主要な環境指標の推移

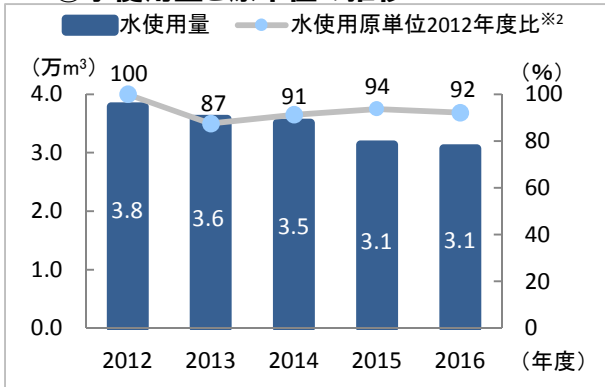
① CO2排出量と原単位の推移



② 廃棄物排出量と再資源化率の推移



③ 水使用量と原単位の推移



※1 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※2 2012年度における内作生産金額あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数

※3 報告対象期間:2012-2015年度は4月1日から翌年3月31日の集計、2016年度は1月1日から12月31日の集計

(2) PRTR法対象物質集計結果(2016年1月~12月)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
239	有機スズ化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10
305	鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

株式会社クボタケミックス 小田原工場

4. サイトデータ(2016年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	7,006
水使用量	万m ³	3.1

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	14,020
----------------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		—		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SO _x	—		ばい煙発生施設なし		
NO _x	—				
ばいじん	—				

排水量	公共用水域	万m ³	—
	下水道	万m ³	1.0
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	C排水口		D排水口	
				規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	7.4, 8.2	5.8~8.6	7.7, 8.4
		BOD	mg/l	60	1	60	2
		COD	mg/l	60	2	60	3
		窒素	mg/l	120	1	120	1
		りん	mg/l	16	0.1	16	0.1
		六価クロム	mg/l	0.5	0.1	0.5	0.1
		鉛	mg/l	0.1	0.01	0.1	0.02
		COD総量規制値	kg/日	—	—	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—	—	—
		BOD	mg/l	—	—	—	—
		COD	mg/l	—	—	—	—
		SS	mg/l	—	—	—	—

※C排水口測定値はケイミー(株)測定分

廃棄物排出量	t	66
再資源化率	%	99.8

VOC排出量	t	—
--------	---	---

5.環境トピックス

- 1) 地域の美化活動に継続的に参加しています。
『クリーンさかわ』酒匂川河川敷清掃 (平成28年5月22日)
- 2) 工場周辺公道の清掃を継続的に実施しています。
従業員が出勤時にゴミ拾いを行い、保安室前に設置した小田原市ボランティアゴミ袋に収集しています。(平成28年5月23日～継続実施)



工場周辺公道清掃の掲



全従業員対象環境教育

- 3) 年1回、全従業員対象に環境教育を実施し、環境意識の向上を図っています。
平成28年度テーマ「化学物質RAと廃棄物管理」 (平成28年9月14日～4回開催)
- 4) 全従業員対象に「環境リスクについて考える(廃棄物編)」をテーマに特別教育を実施しました。
(平成28年11月8日～5回開催)
- 5) 「COOL CHOICE」運動
環境省が展開する「COOL CHOICE」運動に賛同し、照明や空調スイッチにマークを掲示してCO2削減に向けた行動を呼びかけています。(平成28年6月1日～)

6.環境コミュニケーション

① 地域美化活動

- (1) 名称 クリーンさかわ
酒匂川河川敷清掃
日付 平成28年5月22日
参加人数 7名
- (2) 名称 工場周辺公道の清掃
日付 平成28年5月23日～
参加人数 工場全員(継続活動)
- (3) 名称 小田原御幸の浜海岸清掃
日付 平成28年10月1日
参加人数 6名

